学校番号	１１５

平成 30 年度　地歴科

教科	地歴	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年	２年
類型等	選択必修						
使用教科書	日本史Ａ　（山川出版）						
副教材等	最新日本史図表　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

幕末から大正期までの日本の近代史を学習します。中学校で日本史は一通り学習していると思いますが、その近代史の部分をさらに詳しく学び、現代の諸課題の歴史的背景への理解を深めます。歴史的事象に対して「なぜ」という視点を持ち、歴史の大きな流れを理解するようにしましょう。

日本史Ａの授業を受けた後には、必ず授業で学習した箇所の教科書を読み、内容を復習して問題集に取り組んでください。

なお、３年次の日本史Ｂ（４単位）では、原始・古代から 19 世紀中頃までを、３年次の選択・日本史演習（２単位）では大正以降、現代までの日本の歴史を学習します。

2　学習の到達目標

・日本史の大きな枠組みと流れをとらえることで，歴史的思考力を培う。
・日本の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会をみつめ、主体的に生きる力を身につけようとする。	現代世界の諸問題を歴史的観点から考察し、国際社会における日本のありかたを公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする日本の歴史に関する諸資料を多角的に収集し、それら正確に読み取り、有用な情報を生かしてまとめることができている。	近現代史を中心とする日本の歴史を、世界の歴史や地理的条件と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークノート レポート	定期考査 ワークノート レポート	定期考査 ワークノート レポート	定期考査 ワークノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	私たちの時代と歴史	・日本の近代・現代を振り返る	○	○	○	○	a:近現代の歴史的事象と現在との結びつきに関わる主題を意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、近現代の歴史的事象と現在との結びつきを理解し、その知識を身につけている。	ワークシート レポート
	近世社会の動揺と近代への胎動	・幕藩体制の動揺と政治改革 ・新しい経済構造と学問の芽生え ・日本をとりまく世界の変容	○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:幕藩体制の動揺とそれに対応するための政治改革について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:幕藩体制の動揺を経済構造の変容や日本に接近してくる諸外国との関わりとを関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:近世の日本の対外関係、産業、教育や学問・思想などの発展について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	開国と明治維新	・アジアの激動と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡 ・明治維新 ・富国強兵 ・明治初期の外交 ・殖産興業と文明開化	○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:列強諸国のアジアへの接近と日本の開国、江戸幕府の滅亡、明治新政府の諸政策について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:アジアへの列強諸国の進出などに関連付けて幕藩体制の崩壊から明治維新の流れを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 列強諸国のアジアへの接近と日本の開国、江戸幕府の滅亡、明治新政府の諸政策について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

	立憲国家の成立	・自由民権運動 ・立憲制の成立 ・立憲政治の展開 ・日清・日露戦争 ・産業革命と社会の変容 ・明治の文化	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a: 明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る一連の動き、日清・日露戦争にいたる経緯と経過に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:松方デフレが民権運動の急進化の背景となったこと、民権運動の中から国権論が台頭してきたことなどを時代の展開と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:自由民権運動や日清・日露戦争、明治期の諸産業や文化などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:自由民権運動から憲法制定、国会開設に至る一連の動き、日清・日露戦争にいたる経緯と経過、両戦争の過程で日本で産業革命が起こり資本主義が確率したことについて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
2	第一次世界大戦と日本	・政党政治の展開 ・ワシントン体制 ・経済・社会の変容 ・市民文化	○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:第一次護憲運動・第二次護憲運動をはじめとする民衆運動の盛り上がりと大正期における政党政治の展開について、第一次世界大戦に日本が参戦した意図・結果とその影響について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 第一次護憲運動・第二次護憲運動をはじめとする民衆運動の盛り上がりと大正期における政党政治の展開について、第一次世界大戦に日本が参戦した意図・結果とその影響について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:大正期の民衆運動、第一次世界大戦中の日本の中国政策、戦後の国際会議での日本の方針、大正期の市民文化などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 第一次護憲運動・第二次護憲運動をはじめとする民衆運動の盛り上がりと大正期における政党政治の展開について、第一次世界大戦に日本が参戦した意図・結果とその影響について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

	昭和の恐慌と満州事変	・恐慌の時代 ・政党内閣期の内政と外交 ・軍部の台頭	○	○ ○	○	○ ○	a:1920 年代の不況と政党内閣の展開、軍部の台頭と中国への進出などについて関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 1920 年代の不況と政党内閣の展開、軍部の台頭と中国への進出などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:1920 年代後半の経済や政党内閣、および国際関係に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 1920 年代の不況と政党内閣の展開、軍部の台頭と中国への進出などについて、当時の経済状況や国際状況に関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	第二次世界大戦と日本	・日中戦争 ・重化学工業化と統制経済 ・第二次世界大戦と太平洋戦争 ・近代の追究					a:太平洋戦争に至る過程とその展開や、戦時下の国民の生活、戦争がアジアに与えた被害や影響などに関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 当時の国際関係や統制経済を関連づけながら太平洋戦争に至る過程などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:太平洋戦争にいたる過程、戦時下の国民の生活、戦争がアジアに与えた被害や影響などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 当時の国際関係や統制経済を関連づけながら太平洋戦争に至る過程などについて、当時の経済状況や国際状況に関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

3	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	○	○ ○		○	a:第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策、民主化の諸改革について、日本国憲法の制定までの過程や内容について、国際的な冷戦の始まりと、日本の占領政策の転換から講和にいたる経緯と背景について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策、民主化の諸改革について、日本国憲法の制定までの過程や内容について、国際的な冷戦の始まりと、日本の占領政策の転換から講和にいたる経緯と背景について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策、民主化の諸改革について、日本国憲法の制定までの過程や内容について、国際的な冷戦の始まりと、日本の占領政策の転換から講和にいたる経緯と背景についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の日本の占領政策や諸改革、冷戦構造とそれに伴う対日政策の転換と講和への経緯について理解し、その知識を身につけいてる。	定期考査 ワークシート
	経済繁栄と保守長期政権	・55 年体制 ・高度経済成長期の経済と社会					a:55 年体制の確立と高度経済成長期の経済と社会について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 55 年体制の確立と高度経済成長期の経済と社会について、当時の国際関係や経済関係に関連付けながら、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 55 年体制の確立と高度経済成長期の経済と社会に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 55 年体制の確立と高度経済成長期の経済と社会について理解し、その知識を身につけいてる。	定期考査 ワークシート

	現代の世界と日本	・冷戦の終結と日本 ・日本社会の動揺 ・現代からの探求	○	○ ○ ○	○	○	a:冷戦が終結する一方、国際社会では各地で内戦が続いていくこと、国内では 55 年体制が崩壊し、バブル経済から平成の不況の時代へと突入していくことについて、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 国際的な冷戦の終結後の世界情勢と，国内的な 55 年体制の崩壊について、当時の国際関係や経済関係に関連付けながら、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 国際的な冷戦の終結後の世界情勢と，国内的な 55 年体制の崩壊に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 国際的な冷戦の終結後の世界情勢と，国内的な 55 年体制の崩壊について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。